

教育的価値	具体の項目	教育課程
3【そなえる】	⑳【学校・家庭・地域での日ごろの備え】 避難場所や避難方法，避難経路を把握して，安全に避難する。家具の安全対策，避難の方法や落ち合う場所，非常時持ち出し品，放射線についての正しい理解など，学校や家庭でできる防災対策を行う。地域の防災システムを理解し，防災活動に参加する。	総合(5～6年) 業間活動時間 (全学年)
【題材・対象】	地域安全マップ作り (5・6年) 地域安全集会 (全校)	
【実践の概要】		
① 地域安全マップ作り 本校(4年前に3学区統合)は，学区が大変広く，学区全体の理解，また通学路全体の理解が難しい状況である。そこで，「地域安全マップ」を作成し，安全に対する意識を高めたい。 まず，各地区の危険箇所をPTA 校外指導委員会の方々から調査してもらい。次に，それを基に5・6年生が5つの地区の安全マップ(模造紙大)を作成する。それから，安全マップを廊下に掲示し，全校児童がいつでも見られるようにする。 ② 地域安全集会 避難訓練実施日の業間活動時間に，5・6年生が作成した地域安全マップを基にして，各地区ごとに危険箇所を確認した。このことにより，児童は，登下校時や地域での遊びのとき，危険箇所に気をつけることができる。 ③ 地域安全マップの地域全戸配布と子ども会活動での活用 今年度は，業者の印刷による地域安全マップを各家庭と地域全戸に配布し，地域全体で子どもたちを守っていくようお願いした。夏季休業中の子ども会活動では，地域安全マップを活用し危険箇所の確認をした。		
【授業の展開】		
① 地域安全マップ作り(5・6年総合) ・ねらい 登校班リーダーの5・6年生が，登校経路や地域の危険箇所を確認し安全マップを作ることで，安全に対する意識をもつことができる。 ・日時 平成26年5月2日(金) 2校時 ② 地域安全集会 ・ねらい 登校班リーダーが作った安全マップを基に，危険箇所を確認することにより，安全に対する意識をもつことができる。 ・日時 平成26年5月7日(水) 業間活動時間 ③ 地域安全マップの家庭と地域への配布と子ども会活動での活用 ・ねらい 各家庭や子ども会での地域安全マップの活用を通して，安全への意識を高める。 ・配布日 平成26年7月24日(木) ・活用 夏季休業中		 
【考察】		
活動を通して，子どもたちには「自分の命は自分で守る」という意識が着実に育ってきていると実感している。今年度取り組んだことの成果と課題をきちんと整理し，これからも継続していけるよう，保護者や地域との連携を深めながら，長い目で復興の推進に努めていきたい。特にも，今年度は，「地域安全マップ」を家庭や地域住民に配布することにより，家庭，地域と連携した取り組みがさらに進んだ。 今後，「地域安全マップ」の活用を図り，学校・家庭・地域が協力して，児童が地域の危険箇所を知り安全に過ごそうとする態度の育成を確かなものになりたい。		